

26 年度総会を開催

会則改正、新しい役員体制を決める

新年度事業 ホームページの開設運営 ほか

新会員が 10 名、会員総数が 53 名に増える。

平成 26 年度定例総会を 4 月 26 日(土) 午後 1 時 30 分から町中央公民館で開催しました。定例総会の通算回数は 48 回を数えます。

席上、新たに 10 名が入会したことから会員が 53 名になったことが報告されました。25 年度退会者はありません。

【写真右は開会挨拶をする大村会長】



吉川教育長が「さらなる連携を期待する」と祝辞

総会に町教育委員会の吉川健次教育長がご出席くださいました。席上吉川教育長は「日頃から町の事業と連携して活動していることに感謝申し上げる。とくにも 2 年後に控える“戸沢サミット in 雫石”では史談会の協力が不可欠だと考えている。ぜひ協力願いたい。

さらには郷土史の調査研究などさまざまな面でも連携していきたい。滴石史談会の一層の発展と会員の研さんを期待する。」と祝辞を述べ、当会を激励してくださいました。

会員 27 名が出席して議事、提出議案をいずれも満場で承認、可決

総会には会員 27 名（ほかに委任状 19 名）が出席。議長に杉村祐一会員を選出し議事を行い、提出された 25 年度事業報告書及び同収支決算書、さらには 26 年度の事業計画案、予算案をいずれも満場で承認、可決しました。

26 年度の事業はおおむね前年の事業を継承しますが、新年度は特に「ホームページの開設運営」、「会報の回数や内容の充実」を図ることになったほか、8 月下旬に山形県の新庄市で開催される「第 2 回戸沢サミット」への参加を決めました。これら事業計画のうち、7 月までの前半の概要は、3 ページ以降で紹介します。



【写真右上・当史談会のホームページ；検索サイトの「滴石史談会」で開くことができます。】

《今年度予算では「町補助金」を申請せず》

25年度の収支決算が承認されました。会費をはじめとする収入の総額が 258,744 円、郷土史講座の講師謝金などの事業費をはじめとする支出は 175,765 円で、差引き残高の 82,979 円を次年度に繰り越すこととなりました。

一方、26年度の収支予算の内、収入は 245,000 円で前年より 10,000 円少ない額の計上となりました。これは、昨年まで町から少年少女歴史教室などの活動事業費に対して交付されていた補助金（25年度実績 30,000 円）を、今年からは会の財政的自立を目指すこととして申請しないことにしたことや繰越金が前年度に比べて 14,000 円ほど少なかったことなどによるものです。

支出予算は、概ね前年並みの内容ですが、今年度新たに「事務局手当」を新設しました。近年、事業の活発化により事務局長の職務が繁多になっていることから、事務局員の手当てとして月額 1 人 500 円を支給することにしたものです。予定では主に庶務を担当する事務局長と会計業務を担当する事務局員 1 名に支給する考えです。

〈少年少女歴史教室は今年度から町教委と共催事業に〉

なお、町補助金の対象だった少年少女歴史教室については、今後は町教育委員会と共催事業となり、これまで当会が費用を負担していた教室での配付資料の印刷代や公民館使用料を今年度からは町教育委員会が負担することになったもので、補助金減収の影響は最小限度に抑えられる見込みです。

会則を改正、事務局長を「役員」に規定

議案第 3 号では、会則の改正を提案し原案どおり可決されました。とくに今回、これまで役員でなかった「事務局長」を新たに「役員」として規定しました。

また、この変更に関連して、「役員の出選方法及び役員の業務と任期」、「事務局の体制」、「『会議』の位置付けや附議案件」、さらには「会計」に規定についても一部改正しました。

大村昭東会長を再任、5 人の役員が新任

2 年間の任期満了を受けて、役員改選が行われ、大村昭東会長、関敬一副会長が三選されました。また長年事務局長を務めてきた新里栄弘氏が新たに理事に選任され、これまで理事だった赤坂昌雄氏が新しい事務局長に選任されました。

新役員体制は下表のとおりです。

(敬称略)

会 長	大 村 昭 東	(再任)
副 会 長	関 敬 一	(再任)
理 事	渡 辺 洋 一	(再任)
理 事	高 橋 與右エ門	(再任)
理 事	新 里 栄 弘	(新任)
理 事	上 村 雅 生	(新任)
理 事	杉 村 祐 一	(新任)
監 事	岩 持 斗季子	(再任)
監 事	細 川 仁	(新任)
事務局長	赤 坂 昌 雄	(新任)

今年度の主な事業計画（前半）の紹介

（実施日の近い順に紹介しています。）

< 会 議 >

- ◆5月27日（火）13：30～ 新年度第1回役員会（中央公）
- ◆6月4日（水）10：00～11：30
第19回滴石・北浦史談会交歓会に係る第2回打ち合わせ会（中央公）

<参加者を募集する各種事業・行事>

① 盛岡藩と八戸藩の藩境塚を探す実地踏査

当史談会としては2回目。志和公民館事業と合同で実施。志和からも数名参加。今回は今後の展開を考え下記2つの方面から同時に実施する。両コース案内人有。

- ◆日時； 6月2日（月）10：00～15：00（昼食持参）
- ◆場所； ①戸沢川上流から須賀倉山（940.9m）山頂コース（一部急峻）
②大村・畑台牧野から須賀倉山稜線コース（比較的平坦）
- ◆事前打合せ 5月26日（月）夜・ 場所；御所公民館
- ◆参加希望者は5月23日（金）までに、担当：関 副会長（692-2392）
まで電話で申し込んでください。傷害保険加入。<予備日 6月3日（火）>

【昨年の藩境塚調査から】



【一里塚の草刈り(25年)】



② 町内史跡等の清掃奉仕活動（第1回）

町内にある史跡のうち、「長山街道分れ」「生森一里塚」「高前田一里塚」の草刈り作業を行う。年3回（6月上旬、8月盆前、9月中旬）実施予定。

今回は1回目。史跡毎に3班に分かれて実施。草刈り機の燃料を現物支給する。

- ◆日時；6月14日（土）9：00～（各人の希望地ごとに集合・作業）
- ◆参加希望者は6月11日（水）までに、赤坂事務局長（692-3401）へ電話で申し込んでください。（人数調整が必要な場合がありますのでお願いします。）

③ 2014 しずくいし少年少女歴史教室、6月15日（日）開講

今年で5年目の実施。第1回は6月15日（日）。以後土・日を基本に7回実施。会員の皆さんには、バスに乗って小中学生のお世話をしながら一緒に歴史を学ぶ支援員としての参加をおすすめします。（毎回参加できなくても結構です。）

別途、詳しい情報をお知らせします。

④ 2014 歴史サロン・毎月第三水曜日開設

毎月第三水曜日の午後3時から5時まで、中央公民館で開設。「お茶でも飲みながら歴史談義をしましょう」が趣旨。テーマは設定することもあり、フリートークの時もあります。時間は夜と夕方の二つのパターンを交互に。今年度第1回は6月から始めます。(出席予約は必要ありません。お茶は自費です。)

- ◆日時；6月18日(水) 午後3時から5時まで
- ◆会場；中央公民館2階 視聴覚室 ◆話題提供者を募集！
- ◆詳細は別途お知らせ予定

⑤ 町教委共催・第1回郷土史教室「西木村に戸沢氏の足跡たどる」

今回の教室は、この2月に当会の郷土史講座の講師としてお招きした秋田県仙北市西木町の沼田欣治郎先生の案内で「滴石を出たあとの戸沢氏」の足跡を追います。

日程とコース概要は下記のとおりです。

なお、この行事については一般町民と同時の参加者募集になりますので、参加希望の方は6月上旬発行の町教育広報の「お知らせページ」をご覧ください。

《右の写真は、毎年行われる戸沢氏祭りのお家行列→》



- ◆日時； 6月26日(木) 8:00～15:00
- ◆場所； 秋田県仙北市<生保内～玉川ダム宝仙湖～上戸沢～上桧木内～下桧木内～門屋 >を巡って館跡や神社、寺院を見学します。

⑥ 第19回 滴石・北浦史談会交歓会

北浦…秋田県仙北地方の古い呼び名で、旧田沢湖町の史談会の名称にも用いられている。

7月25日(木)に雫石町中央公民館(史跡は盛岡市内)で開催。
交流会費3,500円を予定。

内容…イ)盛岡市内の史跡探訪(鉾屋町・大慈寺町かいわい)
ロ)研究発表会 ハ)交流会

詳細については、別途お知らせする予定です。

- ◆発表会の共通テーマは「郷土芸能」。 当会から「雫石・秋田街道沿いの郷土芸能」について研究発表してくれる会員1名を募集します。発表時間は45分間程度。(会として資料収集等に協力します。)
- ◆発表ご希望の方は5月30日(金)までに事務局までご連絡ください。

あとがき…… 季節は桜花から若葉に変わった。先日の定例総会で新会員が10名増えたとの報告があった。それぞれ郷土の歴史に思いを抱いておられる方々のご入会であろうと思うと誠に心強い。一足先にこの会で雫石の歴史を学び、楽しんでいる者として大歓迎である。論語の「温故知新」。<古きを尋ねて新しきを知る>と読む。先人たちの暮らしぶりや残してくれた知恵から、いまの自分の心構えや生活を見直すヒントを得ることができる、という意味もあろう。歴史を学ぶひとつの意義がここにある。50余名の持つ経験、情報は貴重だ。会の活動を通じてこれらを共有し、学んだ成果を地域に還元していきたい。調査研究に行事に皆さんの積極的な参加を願う。(S)